

問

代表・一般質問を平成28年12月1日、2日、5日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

区民が幸福と思える社会の実現!!その仕事が政治だ!

自由民主党 新井 ひでお 議員



協創に基づく区政運営を図れ

【問】 これまでの協働による成果や課題も十分に検証の上、協創の取り組みを活かしていくことが重要と考えるがどうか。

【区長】 平成29年度の早い時期に協創の事例や考え方を示すガイドラインを作成していく。

計画的な財政運営が重要

【問】 政府による景気回復対策の効果により歳入が増加しているが、社会保障費の増加等、大幅な歳出増が見込まれる。区はどのような考え方のもと、中期財政計画を策定しているのか。

【政策経営】 収支の均衡、基金と起債のバランスを取りながら選択と集中を進め、真に必要な施策を着実に推進する計画となるよう策定していく。

まちの未来を創り出す成果を

【問】 ①六町エリアデザインについて、現時点で区が考えている施設構想はどのようなものか。②花畑エリアデザインについて、文教大学と開学前から大学連携の取り組みを進めるべきと考えるがどうか。③谷塚駅からの通学路として必要な人道橋整備について、草加市との協議、調整状況は。④竹の塚エリアデザインは、UR都市機構竹の塚第三団地等、三つの団地を合わせ含んだダイナミックな改変で、区の北部拠点としての位置づけに相応しいまちづくりが可能となると思うがどうか。

⑤江北エリアデザインについて、現時点での東京女子医科大学との協議内容や状況は。また、病院開設時期等、今後のスケジュールの見込みは。**【資産管理】** ①生活の質の向上と地域の賑わい創出に寄与する双方の効果的な組み合わせによるまちの活性化を目指していく。**【政策経営】** ②平成29年に包括的な協定締結を行えるよう事務レベルで内容調整を行っている。今後早期の段階から積極的に連携協力を進めていく。**【市街地】** ③確認書の年内の取り交わしを目指しており、平成33年の開学までに人道橋を供用開始できるよう取り組んでいく。**【政策経営】** ④今後は、特にUR都市機構への働きかけや情報交換を積極的に行いながら、区の玄関口としてふさわしいまちづくりを注力していく。⑤学内で調整中であるが、ベッド数は最低400床以上とし、現時点で必要とされる建物の延べ床面積は概ね5万7千㎡と伺っている。新病院開設は平成33年度になると考えており、平成29年度中の用地確保を目指して取り組んでいく。

工事への万全な安全対策を

【問】 中川堤防かさ上げ工事について、従来通り車を通行させ、花見橋も架け替えるべきとの多くの意見が寄せられているが、今後の区の考えは。

【都市建設】 周辺の交通量調査を行うとともに、将来の道路計画等も踏まえた上で、橋の架け替えや堤防上の車両交通の可否も含め今年度中に最善策を示していく。

新たな交通手段の検討を進めよ

【問】 花畑地域をモデル地区として、高齢者を対象とした新たな交通手段の実現に向けて実施したアンケートの内容と結果は。また、運営に対する民間事業者や区からの補助等も含め、今後どう検討を進めていくのか。

【都市建設】 外出先や目的、移動手段等、日常の外出について伺い、回答率は約50%である。採算性、事業主体、民間事業者からの支援のあり方を整理し、平成29年度中に新たな交通手段の仕組みを検討していく。

地域へ丁寧な説明と合意形成を

【問】 施設更新、適正規模化、統合の対象として花畑地区が検討対象となったが、単に学校を統合するのではなく魅力的な新

健康長寿ナンバーワンのまち足立区を目指して

自由民主党 古性 重則 議員



持続可能な国民皆保険制度を

【問】 ①血糖値スパイクを判定できるように健診項目導入と見直しを行うべきと考えるがどうか。②1年間国民健康保険を利用しなかった人に対する報奨制度を

校を模索すべきであるがどうか。**【教育長】** 民間教育機関の活用は、新たな事業展開を考える上で今後も常に選択肢の一つとして検討していく。さらに義務教育学校や小中一貫校とするかは、過大規模となり得るリスク等を慎重に検証した上で、地域と十分に協議し、検討していく必要があると考える。



質の高い保育・教育が必要

【問】 同じ足立区の子供が通う保育施設なのだから、公立でも私立でも小規模保育事業等でも一定の質を保つ必要があると考えるがどうか。

【子ども】 学識経験者の意見を伺いながら年度内を目的にガイドラインの策定を進めている。今後は指導検査、定期的な巡回訪問等の充実を図り、公立・私立を問わず保育の質の確保に努めていく。

②当面は保険料収納率の向上と医療費適正化に努めることで安定的な制度運営を目指していく。**認知症対策に積極的に取り組み****【問】** ①趣向をこらした講座を住区センターで定期的に行うべきと考えるがどうか。②警察と連携し、いわゆる車での徘徊を未然に防ぐための啓発を行うべきと考えるがどうか。③生きがい奨励金を区内商品券と健診の選択制とすることで、より効果的な事業にすることができると思うがどうか。

②介護保険料決定通知等を郵送する際に、認知症が疑われる場合は運転をしない旨の啓発を入れる等、注意喚起を図っていく。**【区民】** ③介護予防チェックリストにより認知症の早期発見に効果を挙げているため、健診項目の追加等は、今後の研究課題とさせていただく。

おもてなしのまちづくりを

【問】 ①誰にでも平等に親切心を持って対応できるように、特に子どもたちに教育していくべきと考えるが、今後の取り組みはどうか。

②今後、自転車利用ルールやマナーのさらなる徹底に向けて、区民への普及啓発をどのように進めていくのか。

【都市建設】 ①ユニバーサルデザインの理念を子どもたちに広めていくため、出張講座を実施する等、積極的に進めていく。②スタントマン教室等の活動の対象を広げ、自転車利用ルール、マナーの徹底を図っていく。

六町エリアデザインによる

まちの未来像

自由民主党 吉岡 茂 議員



区民の切実な声や期待の反映を**【問】** 六町エリアデザイン計画については、街頭説明会や区民アンケート等の新しい試みを通じて、高年齢世代の意見に差がなく、皆さんが一つの方向を見ているということが確認できた。計画策定にあたり、区民の声や期待を整理し、これらの意見を計画に反映しながら六町のまちの将来像を設定することができたと考えている。

剣な思いを意見としていただき、アンケート調査結果では若者世代、高年齢世代の意見に差がなく、皆さんが一つの方向を見ているということが確認できた。計画策定にあたり、区民の声や期待を整理し、これらの意見を計画に反映しながら六町のまちの将来像を設定することができたと考えている。